

深西だより

シがき 創味的人に

表动。意心。强烈

学校通信 第36号 令和6年3月21日(木)発行





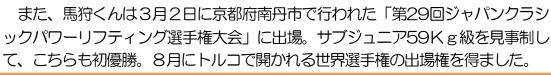
3月1日 令和5年度第76回卒業式が行われ、64名の卒業生が深西を巣立って行きました。今年は4年ぶりに保護者の人数制限なく、在校生も全員出席で実施されました。福田校長から64名一人一人に卒業証書が手渡されました。コロナ禍を乗り越え、充実した3年間を物語るような清々しい表情を見せていました。答辞は卒業生を代表して上口紗穂さん(江部乙中出身)が読み、最後の式歌は萩尾百々華さん(深川中出身)の指揮、堂前音娃さん・岩倉あずささん(北竜中出身)の伴奏で卒業生がステージ前に並び、在校生とともに『正解』をコーラスしました。



(答辞より抜粋) 私たちは長いようで短かった3年間で多くの物を得ました。 今、この64名の仲間たちと卒業を迎えることができて本当に良かったと感じています。2クラスという小さな学年だったからこそ「最少の人数で最高の学年」を胸に学校行事に一丸となって臨んで得た、高い団結力と信頼感で、充実した高校生活を送ることが出来たと確信しています。私たちはこのかけがえのない3年間を過ごせたことを誇りに思います。 (答辞起草委員会)



2月24・25日に壮瞥町で行われた「第35回昭和新山国際雪合戦」一般の部に 沼田町の「NMTチームの一員として出場した馬狩柊斗くん(沼田中出身)が、 チーム念願の初優勝を勝ち取りました。





[パワーリフティング] 全国優勝を目標に掲げ、毎日トレーニングしてきた成果を発揮することができ、念願の優勝を果たすことができて本当に嬉しかったです。世界選手権やアジア選手権にもぜひ挑戦してきたいと思います。

[国際雪合戦] 昨年準優勝で悔しい思いをしたので、絶対に優勝したかったです。優勝できてホッとしています。来年は連覇を目指します。どちらも嬉しい気持ちと、それ以上に好きなことができる環境を整えてくれる周りの色々な方々に感謝しなくてはいけないとあらためて実感しました。また、パワーリフティングも雪合戦も、まだまだ知名度を上げたいので、今回のことでやってみたいと思ってくれる人が増えてくれればと思います。<1年生・馬狩柊斗>

2月24・25日比布町で開かれた「北海道ジュニアスキー技術選手権」に出場した生川由依さん(一已中出身)が初優勝を飾り、3月22日に留寿都町で開かれる全国大会へ駒を進めました。



全道優勝は初めてです。「総合滑降」と「小回り」で1位、「大回り」で2位となり、高校の部で合計点数が唯一800点を超えました。 3月末に行われる全日本ジュニア選手権(ルスツリゾート)でも上位入賞を目指して頑張りたいと思います。

文化系でも活躍しています。「第71写真道展」学生の部で1年生の齊藤ここ菜さん(秩父別中出身)が『小さな音楽隊』の写真で入選を果たしました。

4月の行事予定

- 1日(月)学年始休業(~7日)
- 8日(月)着任式 始業式 入学式(14:00~)
- 9日(火)対面式 部局紹介 生徒会オリエンテーション 授業規律週間(~12日)
- 10日(水)基礎カテスト(1学年) 朝の挨拶運動(~12日)
- 11日(木)内科検診 個人写真撮影
- 15日(月)身体測定
- 16日(火)【開校記念日】
- 17日(水)心電図・胸部X線検査(1学年) 交通安全教室
- 19日(金) 尿検査(1)
- 22日(月)コーラス大会練習開始
- 25日(木)宿泊研修(~26日•1年生) 奨学金保護者説明会

今回入選した作品は、夏にファーム富田(中富良野町)で撮影した写真です。 花畑の中で展示されていた人形にピントを合わせて、背景にぼんやり人を入れたことでいい作品に仕上がりました。今後も色々なジャンルに挑戦します。

<1年生・齊藤ここ菜>

〈発行者〉 北海道深川西高等学校 担当:総務部

<電 話> 0164-23-2263 < FAX> 0164-23-2264

<E-mail> hukagawanishi-z0@hokkaido-c. ed. jp <ホームページQRコード>

